

令和2年度

「広報・広聴活動に関するアンケート調査」結果報告書

令和3年3月

丹波市

企画総務部 総合政策課

令和2年度「広報・広聴活動に関するアンケート調査」結果について

1. はじめに

広報・広聴活動に関するアンケート調査は、広報・広聴に関する市民の満足度や意見などを把握し、効果的な情報発信や適切な行政運営を行うため、コロナ禍における広聴事業の一環として調査を実施しました。

このたびの調査では、20歳以下から80歳を超える高齢の方まで、発行部数の11.7%もの大変多くの方に回答をいただくことができました。特に60～70歳代の回答が全体63%を占め、広報紙を読んでいる年代や市政への関心の高さが伺えました。意見を聴く機会を望む声や、日常生活において何から情報を得ているかによって広報紙の必要性の有無が異なることなど世代間によって考え方の違いなどもありました。

市民参画のまちづくりを行うためには、広く市民からの意見や提言を聴き、それらを施策に反映させることが重要ですが、市民の意見を聴く「広聴」事業の認知度は低く、「市政への意見を提言しやすい状況にない」との意見もありました。

このたびの調査で得た結果は、今後、よりわかりやすい広報及び、より身近な広聴活動を進めていくにあたって、有効に活用していきたいと考えています。また、広報広聴事業以外の自由意見では、市政全般にわたり多くの意見が寄せられており、今後、アンケート結果を真摯に受け止め、市職員一人ひとりが市民の立場に立った行政運営に取り組み、引き続き市民に寄り添えるよう「広報・広聴」の重要性を職員全体で共有してまいります。

さらに市民に対しても、市の施策や事業などを世代に応じた情報発信に配慮することで、市民の市政への関心を高め、各世代から意見を拝聴する広聴事業の充実を進めてまいります。

最後になりましたが、調査にご協力いただきました多くの市民の皆様に対しまして心よりお礼申し上げます。

2. 調査概要

- (1) 調査期間：令和3年1月20日（水）～2月19日（金）
- (2) 配布対象：広報たんば1月号（23,000部発行）全世帯配布20,986件の他、主要施設等に設置の広報紙を含む全ての広報紙に差込
- (3) 回答方法：返信用封筒での郵送・窓口持込及び、市ホームページによる回答
- (4) 担当課：企画総務部 総合政策課 広報広聴係

3. 調査結果

回答数（回答率）2,689件（回答率11.7%）

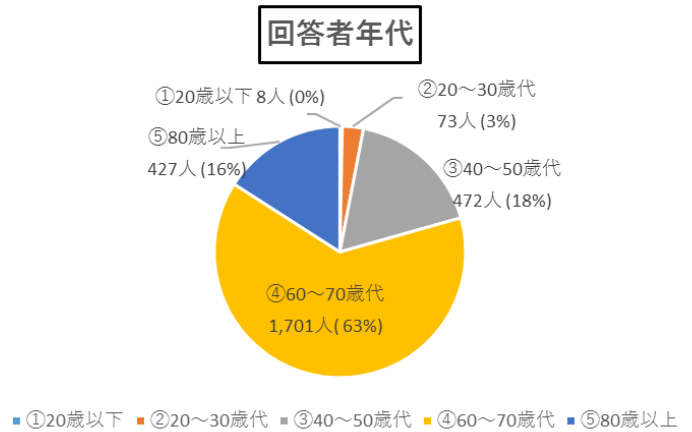
【注意事項】

- ・回答未記入のものがあり、回答件数と整合しない場合があります。
- ・構成比が100%となるよう端数調整を行っています。
- ・その他の意見などは、順不同で記載しています。

【あなた自身のことについて】

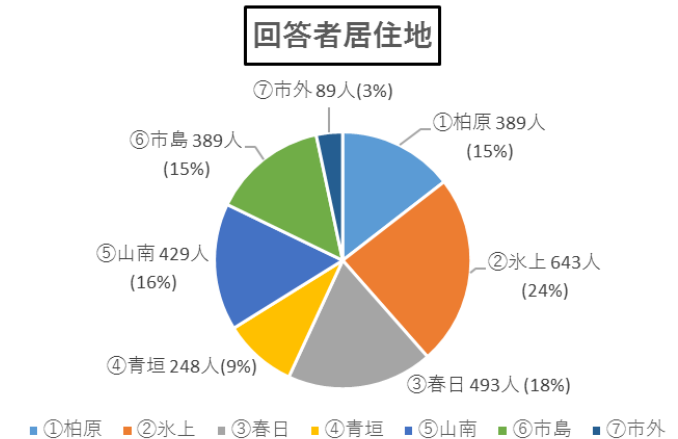
1) あなたの年齢はいくつですか。

①20歳以下	8
②20～30歳代	73
③40～50歳代	472
④60～70歳代	1,701
⑤80歳以上	427



2) お住まいの地域はどこですか。

①柏原	389
②氷上	643
③春日	493
④青垣	248
⑤山南	429
⑥市島	389
⑦市外※	89

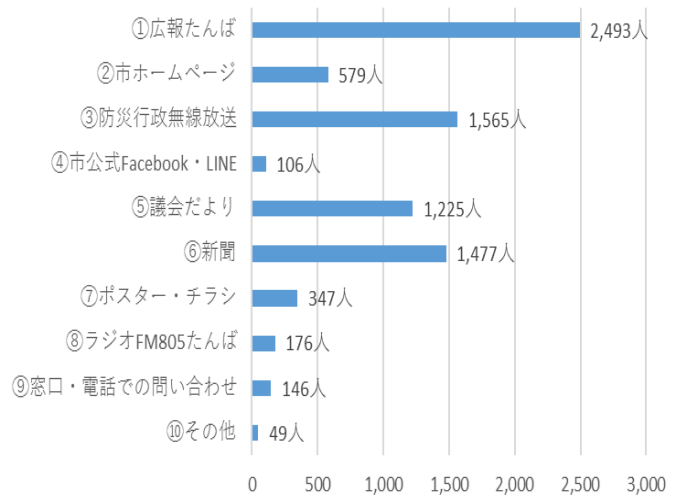


※神戸市、西宮市、大阪市、福知山市、加古川市、宝塚市、川西市、加古郡、吹田市、西脇市、朝来市、姫路市、尼崎市、東京都、三田市、養父市、岡山市、明石市、たつの市、高槻市、池田市、京丹後市、枚方市、滋賀県、岐阜県、札幌市、神奈川県

【丹波市の情報全般について】

3) 市政に関する情報をどのような方法で入手していますか。(複数回答)

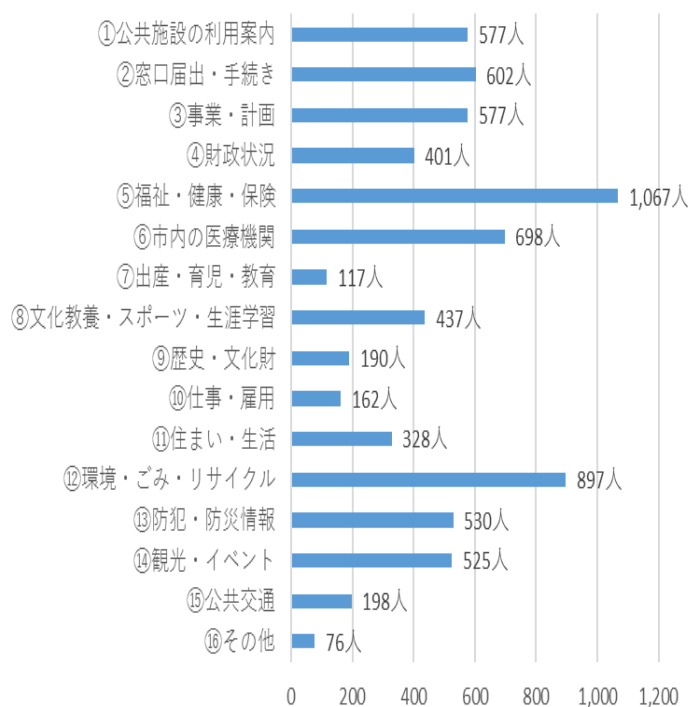
①広報たんば	2,493
②市ホームページ	579
③防災行政無線放送	1,565
④市公式Facebook・LINE	106
⑤議会だより	1,225
⑥新聞	1,477
⑦ポスター・チラシ	347
⑧ラジオFM805たんば	176
⑨窓口・電話での問い合わせ	146
⑩その他※	49



※自治会、人から聞く、噂話、市議会議員、議会中継、テレビ、ふるさと住民登録制度、積極的に入手しようと思わない、関心がない

4) 市政について、特に知りたい情報をお聞かせください。(上位3つ回答)

①公共施設の利用案内	577
②窓口届出・手続き	602
③事業・計画	577
④財政状況	401
⑤福祉・健康・保険	1,067
⑥市内の医療機関	698
⑦出産・育児・教育	117
⑧文化教養・スポーツ・生涯学習	437
⑨歴史・文化財	190
⑩仕事・雇用	162
⑪住まい・生活	328
⑫環境・ごみ・リサイクル	897
⑬防犯・防災情報	530
⑭観光・イベント	525
⑮公共交通	198
⑯その他※	76

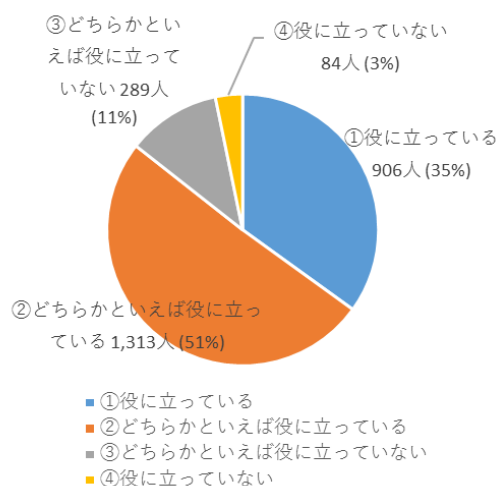


※コロナ関連情報、公約について、議会のあり方と方向性、党派別それぞれの意見、各種補助金の申請方法、デマンドタクシーについて、農業振興(特産物など)、ICOCAの使い方、若者が住み続けられる地域づくり施策、環境対策、森林施策、SDGsなどの取り組み、市内の活動内容や人のこと、ボランティア情報、グルメ情報、人口動態

【広報たんばについて】

5) 「広報たんば」は生活に立っていますか。

①役に立っている	906
②どちらかといえば役に立っている	1,313
③どちらかといえば役に立っていない	289
④役に立っていない	84



6) 5) で①②を選んだ方は、どんなところが役に立っていますか。

- ・地域の色々な出来事や市政について、新しい情報がわかる
- ・丹波市・自治会内の現況全般
- ・読んでいて楽しい。カラーなので見やすい、見てみようと思う
- ・紙による情報収集は必要
- ・防災無線放送で聞きそびれた時、新聞で見逃した時に出して見る

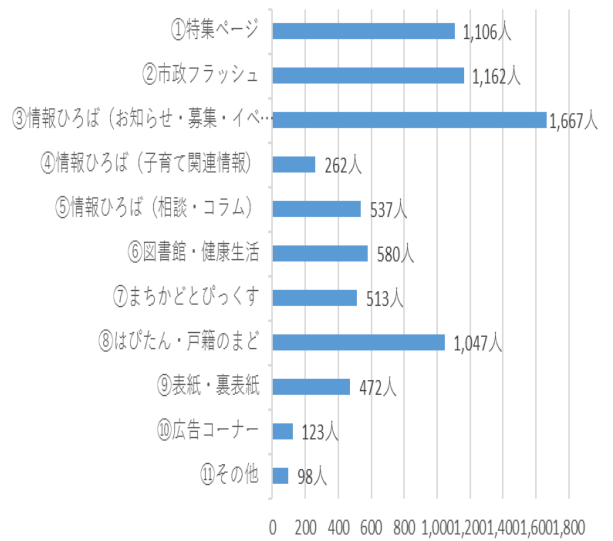
- ・ 予定や地域の活動内容、イベントを、自分の地域の活動の参考になればと見ている
- ・ 子ども達の笑顔がとても温かく感じる
- ・ 不便、役に立たない訳ではないが、あまり身近に活用できる情報がない
- ・ 地域の感じ方、考え方がわかる
- ・ 市民としてのつながりを感じる
- ・ 癒される、元気をもらえる
- ・ 市長や職員の想いが伝わってくる
- ・ ごみの出し方
- ・ 内容はわかるが、見にくい。簡単に理解しやすい内容にしてほしい
- ・ 他の情報収集手段がない
- ・ 小中学校のニュース
- ・ 信用できる市の情報紙だから
- ・ 税金を納めているからには、それ相応のサービスを受けたいから

③④を選んだ方は、どういうところが不便・役に立たないと思われますか。

- ・ 読みたい内容がない
- ・ 生活するのに何の役にも立たない
- ・ 見にくい
- ・ 関心がない
- ・ 経費の無駄
- ・ 配布が月末で遅いため、情報の意味がほぼない
- ・ HP、SNS を中心に見ているから
- ・ 防災無線で十分足りている、放送の内容と同じ
- ・ ゆっくり読んでいる余裕がない
- ・ 掲載される地域に偏りがある。もっと小さい地域にも目を向けてほしい
- ・ 細かいことは新聞等でわかる
- ・ もう少し内容を変えてほしい
- ・ 高齢のため見ても行動にうつせない、高齢者の生活に関係することが少ない
- ・ マンネリ化している
- ・ イベントなど、上っ面の説明で興味がわからない
- ・ 特に福祉関係は、昔よりひどくなっている
- ・ 県境に住む者には不要。むしろ他県・他市の広報のほうが大切
- ・ 何を伝えたいのかわからない
- ・ 1週間ごとの情報が必要
- ・ 字を大きくしてほしい
- ・ 市役所の宣伝、自己満足でしかない
- ・ 市民に寄り添った広報紙というには疑問を感じる
- ・ コロナの情報が出ていないから

7) 「広報たんば」でよく見るコーナー・ページがありますか。(複数回答)

①特集ページ	1,106
②市政フラッシュ	1,162
③情報ひろば(お知らせ・募集・イベント)	1,667
④情報ひろば(子育て関連情報)	262
⑤情報ひろば(相談・コラム)	537
⑥図書館・健康生活	580
⑦まちかどとびっくす	513
⑧はぴたん・戸籍のまど	1,047
⑨表紙・裏表紙	472
⑩広告コーナー	123
⑪その他※	98

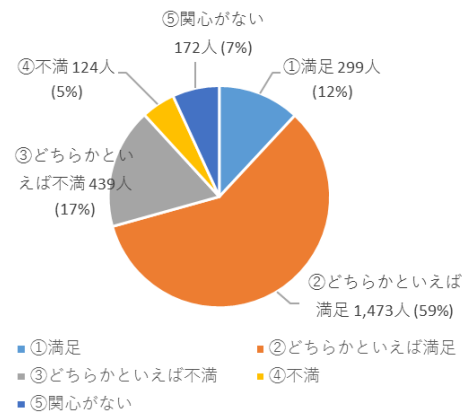


※全て見る、子どもが笑っているページ、補助金・助成金について、見ない

【広報活動全般について】

8) 現在の市政情報の提供について、どう思いますか。

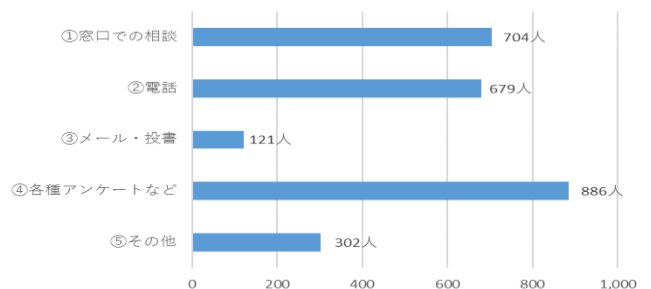
①満足	299
②どちらかといえば満足	1,473
③どちらかといえば不満	439
④不満	124
⑤関心がない	172



9) 市政に関して意見や提言・要望などをする場合、どのような方法で行っていますか。

(複数回答)

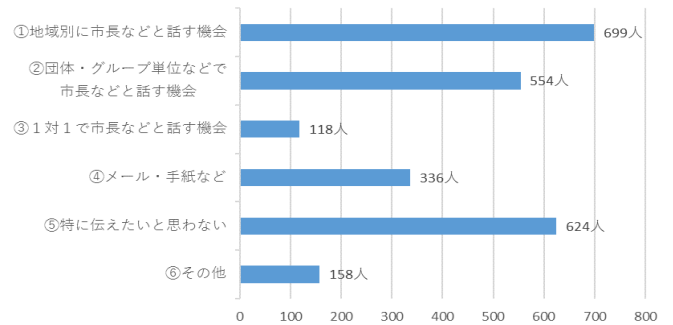
①窓口での相談	704
②電話	679
③メール・投書	121
④各種アンケートなど	886
⑤その他※	302



※自治会・地域の役員、市議会議員、方法がわからない、言っても無駄、言える場がない、意見しにくい、新聞への投稿、市長に会いに行く、市の説明会等に参加、アンケートを増やしてほしい、特にしていない、要望がない、満足だからしない、不満だがしたことがない、提言・要望はないが関心はある

10) 市政に関して意見や提言をするため、どのような機会があれば利用したいですか。

①地域別に市長などと話す機会	699
②団体・グループ単位などで市長などと話す機会	554
③1対1で市長などと話す機会	118
④メール・手紙など	336
⑤特に伝えたいと思わない	624
⑥その他※	158



※アンケート、身近な議員、議会と話す、直接、担当部署・窓口で直接意見、自治会を通す、投書箱の設置、思わない、市長に期待していない、各自治会に出向き意見を聞く、聴く姿勢が感じられない職員が多い、話しやすい体制、気軽に提言できる場、SNS・ネットでつぶやく、年代別に市長と話す、管理職との電話、年1回は自治会に上申の集約をしてほしい

【広報・広聴活動全般について】

11) 広報・広聴活動全般について自由なご意見をお聞かせください。

【広報紙について】（ ）内は同内容の集約意見の数です。

- ・表紙の工夫がとてもユニークで楽しみ、元気をもらえた、毎月楽しみにしている (53)
- ・配布部数、カラー印刷、用紙の種類など、経費の無駄遣い(29)
- ・よくまとめられていてよみやすい (20)
- ・読みづらい（文字数が多い、文字が小さい、専門用語が多い、写真や挿絵を多くする）(17)
- ・配布時期が遅い。スピード感を持って配布しないと、効果が活かされない (16)
- ・今のままでよい (16)
- ・頑張っていると思います (16)
- ・ほっこりする記事の掲載 (16)
- ・今後も幅広い年齢層に読んでもらえる「広報たんば」を目指してください(13)
- ・コロナ情報を適時広報してほしい (12)
- ・ホームページ・スマホ重視では、高齢者には何も詳しいことがわからない、ホームページやQRコードを載せてもらっても使えない、高齢者対象のスマホや電子機器の使い方を教えてくれる場があれば (12)
- ・市職員の配置を知りたい (11)
- ・市職員の配置掲載がなくなったのは残念だが、このご時勢なので不要と思う
- ・もっと市民の声の掲載してほしい、市民参加型の広報づくりを望む (10)
- ・アピールが足りない (6)
- ・コロナ関係の特設コーナーを設け、市民からのQ&Aを掲載してほしい (5)
- ・他市への出張・視察など、議員の活動内容を議会だよりに記載してほしい (5)
- ・若者、子育て世代の目に留まるようなコーナーの設立(5)

- ・他市をもっと参考にしたほうがいい (4)
- ・自治会活動のシリーズがあってもよいのでは (4)
- ・市の人口データや野菜栽培・生産状況、製造業の生産高などの地域産業のデータ等、市民が考えるべき課題をもっとオープンにしてほしい (4)
- ・市にとって都合が悪い情報も掲載すべき (4)
- ・配布物が多すぎる (4)
- ・情報はスマホで確認できる (3)
- ・市民にとって得になる情報、市民目線の情報を掲載してほしい (3)
- ・広報紙の誤字・誤植、防災無線の原稿ミスがある。しっかりチェックすべき (3)
- ・クイズ、4コマ漫画なども書いてほしい (3)
- ・自治会を使っただけの配布はやめてほしい (3)
- ・丹波市の将来像について、市長・市議の考え等の特集してほしい (3)
- ・戸籍のまどのおくやみ、おめでたの掲載はプライベートなことなのでやめてほしい (3)
- ・まちとぴのページ数を増やしてほしい (2)
- ・高齢者が参加できるスポーツや文化教養活動の記事の掲載 (2)
- ・丹波の特産物や文化、自然など、魅力をアピールする広報活動 (2)
- ・丹波若松の特集がよかった (2)
- ・市長が公約に掲げた施策に関して、実施の見解を広報紙にて公表してほしい (2)
- ・全ページ、カラー写真にしてほしい (2)
- ・講演会に参加できないので、講演要旨を掲載してほしい (2)
- ・移住者に関する記事を今以上に紹介してほしい (2)
- ・市職員の意見や思いを聞かせてほしい (広報紙で職員の紹介など) (2)
- ・担当課の情報、紹介、取り組みなど掲載してほしい (2)
- ・自治体として、まずは健全な運営を図るために、行政側と住民がお互いに何をすべきか、もっと発信すべき
- ・交通事故や火災が発生した場合、その原因や気をつけるべき点を周知すれば、多くの人に関心を持つのでは
- ・旧町域に関する情報は、6町域に分けて掲載してもらったほうが理解しやすい
- ・広報紙内に市民の質問や疑問に答えるコーナーの設立
- ・市の財政をもっと掲載してほしい。節約できるところなど、市民の意見も取り入れてほしい
- ・もれなく届くようにしてほしい (借家には届かない)
- ・土木・建設関係の事業や計画について、たくさん掲載してほしい
- ・丹波のかくれたスポットを紹介してほしい
- ・広報紙の表紙を、希望者に写真にして渡してはどうか
- ・犬の糞尿処理や野焼きなどの迷惑行為について、広報紙でもしつこく発信すべき
- ・表紙の写真がだめ
- ・行事予定はポスターにして自治公民館などに貼ってほしい

- ・子どもの写真が多い。色々な人の立場を考えてほしい
- ・個人的な相談事を相談できる用紙を広報に入れてほしい
- ・年代に分けた広報紙の作成（そのほうが保存できる）
- ・多言語版の広報紙作成
- ・掲載されたことはきちっと時期を守って実行してほしい

【防災無線について】

- ・防災無線の放送内容、件数、放送日、時間帯、機械の操作（音量調整）など検討してほしい(16)
- ・市からの放送が上手でないことが気になり、テクニックを望む、ソフトな語り口調を(5)
- ・防災無線やFM805などの声の広報をもっと活用してほしい(5)
- ・防災無線の放送を2回繰り返してほしい(4)
- ・おくやみの放送を再開してほしい
- ・学校からの下校放送は不要
- ・JRの運行状況（不通時など）を防災無線で流してほしい

【SNSについて】

- ・ホームページが見にくい、使いにくい、情報が何年も変わらず、マンネリ化している(3)
- ・ネットを通じて、市政等について意見しやすいようにしてほしい（匿名で）(2)
- ・新聞やラジオ・テレビなどのマスコミを利用したの広報活動をするべき(2)
- ・LINEでもっと身近な情報（職員のよもやま話等）発信すれば、もっと身近に感じる

【広聴事業について】

- ・意見や提言をしたところで、それが活かされているとは思えない(6)
- ・このアンケートを係だけでなく、市長にも見せ、市民の声を届けてほしい(4)
- ・アンケートの結果を広報紙にて公表(5)
- ・今回のようなアンケートを続けてほしい(2)
- ・市民が生活の中で困っていることや要望など、市民の考えを聞くほうがよい(2)
- ・気軽に意見を書き込む場や名前や顔を出さずに受け入れてくれる場がほしい(2)
- ・広聴と市民参画の違いがわからない
- ・積極的に地域に出向いて、市民の声を聞いてほしい